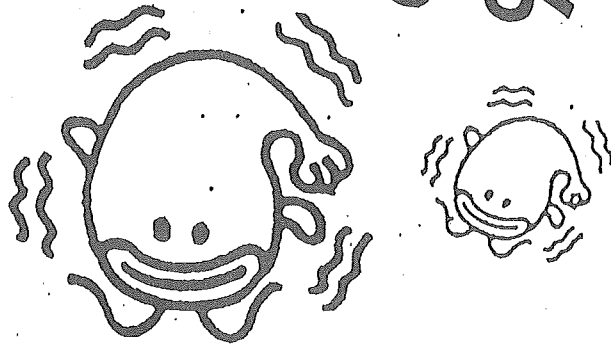


# 衣川台なまず通信



第 1 7 号

‘09年5月7日 発行  
衣川台 自主防災部

## 新年度挨拶

防災部長

飯田雅史

わたくしは本年度の自主防災部の部長となりました飯田でございます。災害に関して私がつねづね思っていることを述べて、挨拶に代えさせていただきます。

大地震と聞きますと、あの阪神大震災のことを思い起こされるのではないのでしょうか。

被災の状況がリアルに報じられる中でとくに印象に残ったのが、平和運動家として有名な方が怒りに任せて役所のことを罵っておられる姿でした。お気持ちはわからないわけではないのですが、何か違うとの思いが残りました。

これと対照的に中越地震のときのことだったと思いますが、被災家屋の傍らで老婦人が手助けに感謝の言葉を述べておられる姿でした。

どちらの立場に立てるかとは別として、災害になれば当然手助けするとの意識を誰もが持っておられると思います。

防災部のメンバーは、豊かな人間性を持った方々の集まりです。気安くご参加いただければと思います。私も謙虚に誠実にそして力の限りと組んで参ります。ご協力よろしく願います。

## 年度の防災部事業計画

防災部事務局長

池田 明

軸丸前事務局長が引越しにより退任され、今年度事務局長を担当することになりました。微力ながら防災部長をはじめ、災害活動員の皆様のご意見もお伺いし、本年度防災部の事業計画等の具体化、推進を事務局員で知恵を出し合って実施したいと考えております。

さて、自主防災部が発足し4年が経過し、皆様方からの防災活動への理解度も少しずつ向上し、また組織としての事業内容も定着しつつありますが、「万一の災害発生時に実践的な組織力を発揮できるのか」が問われる時期に来ていると思っております。

また、災害活動員数拡大の停滞、高齢化などの課題も抱えております。

本年度の防災部事業計画の項目はほぼ前年度の事業計画(総会資料の記載)を踏襲しておりますが、特に次の項目に重点を置き、計画、推進していきたいと思っております。

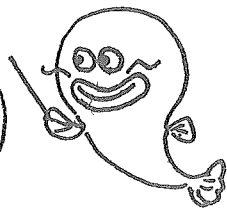
① 安否確認グループ・組単位での助け合いの仕組みを充実させること  
(安否確認グループ・組単位での非常時対応への習熟訓練)

② ご高齢世帯等「災害弱者」とされる方々への援助体制の確立と支援習熟訓練

③ 災害活動員の規模拡大となお、今年度も3回の防災訓練を計画しております。(6月中旬、9月中旬、11月中旬)

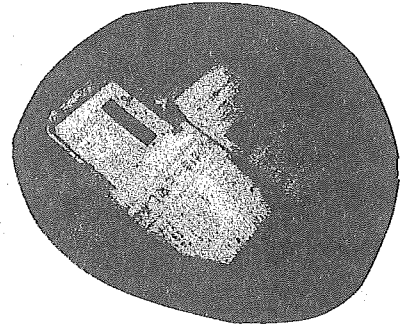
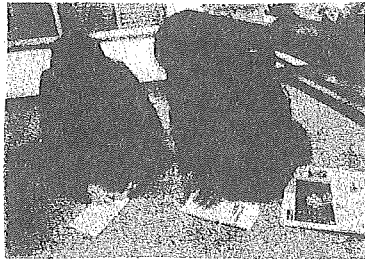
多数ご参加頂き、皆様方のご協力により、活動が有意義な成果につながることを願っております。

# なまずのメンバーで、 実際に試してみました！



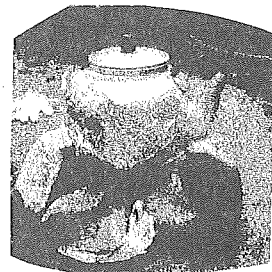
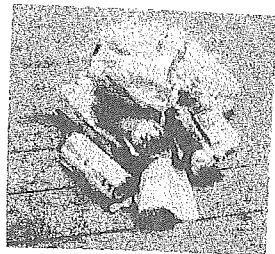
## ①新聞スリッパ

新聞紙2枚（両足で4枚）を折ってスリッパを作りました。作り方はとても簡単で、案外履き心地も良かったです。（中敷きを工夫すれば、ガラスの破片の上を歩けるし、防寒にも効果あり。）



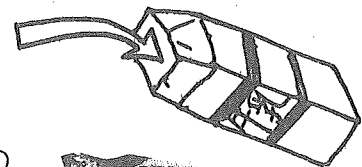
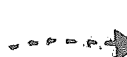
## ②新聞紙で作る火種（前号で紹介）

新聞紙を巻いてからハサミで切るのは大変だったので、1枚分を7～10cm幅に細く折ってから巻いたりねじったりして薪を作りました。（ハサミ・セロテープ不要）これでやかんの水を沸かしました。風が強くて途中で止めましたが、新聞紙1日分を使い、15分で8℃の水が65℃になりました。

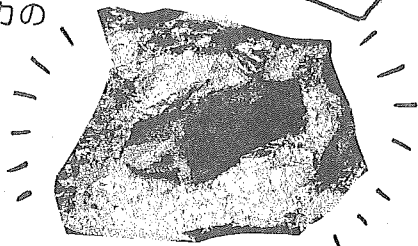
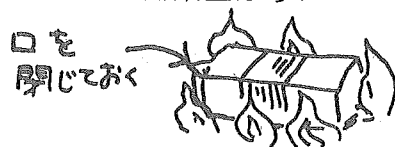


## ③簡単ホットドッグ

【作り方】アルミホイルで二重に包み、牛乳パックに入れる。



牛乳パックに火をつけ、燃え尽きたらホカホカのホットドッグの出来上がり！



多少パンが焦げていましたが、温かくておいしく食べられました。

新聞紙は着火材、スリッパ、防寒などにいろいろ利用できて便利です。  
防災の知恵も、実際にやってみないと役立つかわからないというのが実感です。